

核軍縮及び不拡散に関するG7外相広島宣言(仮訳)

我々は、世界にかつてない恐怖をもたらした第二次世界大戦から71年を経て、我々が広島で会合することの重要性を強調する。広島及び長崎の人々は、原子爆弾投下による極めて甚大な壊滅と非人間的な苦難という結末を経験し、そして自らの街をこれほどまでに目覚ましく復興させた。

この歴史的会合において、我々は、国際社会の安定を推進する形で、全ての人にとりより安全な世界を追求し、核兵器のない世界に向けた環境を醸成するとのコミットメントを再確認する。この任務は、シリアやウクライナ、そしてとりわけ北朝鮮による度重なる挑発行為といった、多くの地域における悪化する安全保障環境によって一層複雑なものとなっている。

我々は、EU3+3とイランとの間の包括的共同作業計画(JCPOA)の合意及び継続的な履行を歓迎する。これは、核兵器不拡散条約(NPT)が国際的な不拡散体制の礎石として強靱であることを示している。我々は、JCPOAが完全にかつ厳格に履行され、また、そのために国際原子力機関(IAEA)の検証活動が鍵となるとの決意を有している。

我々は、全ての側面において、我々のNPTへの強いコミットメントを強調する。我々は、未だNPTの締約国となっていない国々に対し、遅滞なくかつ無条件で加入するよう求める。我々は、NPTの三本柱(不拡散、軍縮及び原子力の平和的利用)全てにわたり、その規定の完全な履行を強く支持する。我々は、IAEA及びその保障措置制度の中心的役割を再確認する。

いかなる国も核兵器の実験的爆発を行うべきではなく、包括的核実験禁止条約(CTBT)の早期発効を達成すべく、全ての国は遅滞なくかつ無条件でCTBTに署名・批准すべきである。優先事項として、我々は、ジュネーブ軍縮会議に対し、核兵器又はその他の核爆発装置に用いるための核分裂性物質の生産を禁止する条約についての交渉を即時に開始するよう要請する。

長年をかけて、核兵器国の核戦力は大幅に削減された。核兵器のない世界に向けた更なる進展は、単独であれ、二国間であれ、又は多国間であれ、我々が、国際安全保障を向上させつつ、断固とした、現実的な、そして漸進的なアプローチをとることのみにより達成できる。NPT第6条に従い、我々は、今後も世界規模での継続的な核兵器の削減に関する永続的かつ積極的な支持者であり、全ての国に対してそのような努力をするよう要請する。

我々は、透明性を向上させたG7の核兵器国によりとられた努力を歓迎する。我々は、他国にも同様の行動を求める。

我々は、全ての国家に対し、核兵器国と非核兵器国との間を含む、全ての国家間での核軍縮・不拡散に関する有意義な対話を促進することができる実践的かつ現実的なイニシアティブに関して我々と協働するよう求める。

国家主体及び非国家主体への大量破壊兵器の拡散を阻止するため、機微な品目及び技術に関する各国の輸出管理を引き続き強化することは極めて重要である。全ての国は、国連安全保障理事会決議1540号を含む全ての関連の国連安保理決議を完全に履行しなければならない。我々は、全ての国に対し、国際的な輸出管理レジームのガイドラインに整合した形で輸出管理を執行することにより、不拡散という目標に貢献するよう呼びかける。

我々は、2016年核セキュリティ・サミットの最終コミュニケ及びアクション・プランを積極的に実施し、本分野におけるIAEAの中心的役割を支持していく。

我々は、原子力の平和的利用にコミットし、引き続きIAEAと協力し、最高水準の不拡散、原子力安全及び核セキュリティを推進していく。

何十年間にわたって、我々のような政治指導者やその他の訪問者が広島及び長崎を訪れ、深く心を揺さぶられてきた。我々は、他の人々が同様に訪問することを希望する。我々は、核兵器は二度と使われてはならないという広島及び長崎の人々の心からの強い願いを共にしている。

(了)